

# ● CSR – 事業活動を通じて、安心・安全で持続可能な社会の実現に貢献する –

## TCSを核としたKDDIのCSR

社会基盤の一端を担う総合通信事業者である当社は、情報通信サービスの提供により、あらゆる社会活動と深く関わっています。KDDIでは、サービスのご利用者、お取引先、社員、株主・投資家、行政機関など、当社に関わるすべてのステークホルダーを「お客様」ととらえ、お客様のご満足を追求する活動、TCSを推進しています。

すべての役員、社員一人ひとりにいたる全員が、自分にとってのTCSを意識し、日々の業務を実践していくことが、KDDIが社会の期待に応え、社会的責任を果たすKDDIのCSRと考えています。



## KDDIのCSR重要課題

2008年度に社会的関心の特に高いテーマであるとともに、社会とともにKDDIが持続的成長を実現するために、特に重視すべきテーマである4つの課題を選定しました。ステークホルダーの皆さまや有識者の方からご意見を伺い、課題解決に向けた取り組みを推進しています。

### 重要課題1 安心・安全な情報通信社会の実現

2005年度から「KDDIケータイ教室」を実施し、2009年度は1,190回、累計2,180回実施しています。「KDDIケータイ教室」は、「誰もが安心・安全にご利用いただくためのお手伝いをする」という考えのもと、全国の小学校、中学校、高等学校などへ社員を講師として派遣し、実施しています。

また、2010年3月には、子どもたちの情報通信利用の現状をテーマとしたシンポジウムを開催し、保護者・教職員の方から課題解決に向けたご意見をいただくなど、ステークホルダーの方々との積極的なコミュニケーションを図りました。

そのほか、子どもの安全と保護者の安心を追求したau携帯電話「mamorino(マモリーノ)」の開発や、18歳未満のすべてのお客様に、フィルタリングサービス「EZ安心アクセスサービス」を導入するなど、安心・安全にご利用いただける環境づくりも積極的に行っています。



KDDIケータイ教室の様様



2010年3月に実施した  
シンポジウム2010

## 重要課題2 安定した情報通信サービスの提供

当社は、ライフラインである情報通信サービスに携わる企業として、お客様に常に安定したサービスを提供することが事業を通じた最大の責務と認識しています。このため、災害発生を想定した訓練の実施、衛星通信機能を備えた車載型無線基地局の配備など、ネットワークに障害が発生した際にも継続的にサービスを提供できるよう努めています。

また、2009年10月から通信環境を改善するため「au電波調査」サービスを開始し、個人宅の電波調査や、状況に応じて屋外の電波を増幅させ、屋内へ中継する「auレピータ」を用いたエリア改善を行うなど、お客様一人ひとりにあった快適な通信環境サービスの提供に努めています。



電波状況を調査し、通信エリア改善を行う個人宅訪問サービス



auレピータ

## 重要課題3 地球環境保全への取り組み

KDDIでは、地球環境保護を推進することがグローバル企業としての重要な責務であると考え、より環境に配慮した活動を実施しています。2009年度は、通信設備の省エネ化対策として、太陽光パネルで発電した電力、蓄電池に充電した電力、商用電力の3つを制御し効率的に携帯電話基地局に供給することで、CO<sub>2</sub>排出量を削減する「トライブリッド方式電力制御技術」のau携帯電話基地局を開発しました。2009年12月に試験運用を開始し、設置方式や供給電力制御の最適化などの検証を重ね、本格導入を目指しています。

また、2009年度から環境会計を導入し、環境マネジメントの質的向上を図っています。

そのほか、ICT（情報通信技術）の利活用により、社会全体の環境負荷低減を図る「Green by ICT」の取り組みの一環として、製品やサービスの製造・使用・廃棄あるいは再使用にいたるすべての段階を通して排出されるCO<sub>2</sub>の量を評価する「LCA（ライフサイクルアセスメント）」を2008年度から導入し、環境負荷の定量的な把握に努めています。

「トライブリッド方式電力制御技術」を採用したau携帯電話基地局



## 重要課題4 多様な人財の育成による活力ある企業の実現

KDDIでは、ダイバーシティ推進を持続的な企業成長のための経営戦略の一つととらえ、積極的に取り組んでいます。

育児や介護と仕事の両立支援、休暇・休職制度、勤務時間制度などの充実を図り、2009年7月に次世代育成支援認定マーク（愛称：くるみん）を取得しました。また、2009年9月には男性社員を対象に、父親としての子育ての関わり方やワーク・ライフ・バランスの重要性を知る講座「Kパパ応援セミナー」を開催するなど、全社員へのワーク・ライフ・バランスへの理解促進に努めています。

このほか、障がい者や高齢者雇用の推進、社員の国内外での活躍をサポートする人財育成制度や研修制度の導入など、社員一人ひとりが生き生きと活躍できる職場環境の整備に取り組んでいます。



障がい者の雇用機会と職域拡大を図るために設立した特例子会社KDDIチャレンジド



次世代育成支援認定マーク「くるみん」

## 社会貢献活動

### 社員参加型の社会貢献活動「+αプロジェクト」

「+αプロジェクト」は、KDDIオリジナルの社員参加型の社会貢献プロジェクトです。2010年3月現在、全国約4,200名の社員がプロジェクトに参加しています。メンバーが社内外で行った社会貢献活動に対しポイントを付与し、積み立てられたポイントを金額に換算して、メンバーが推薦する慈善団体などにKDDIが寄付をするしくみです。2009年度に積み立てられたポイント約370万円は、「国際連合世界食糧計画WFP協会」など14の慈善団体に寄付しました。

そのほか、ペットボトルのキャップの売却益をワクチン購入代として寄付する「エコキャップ運動」へも参加し、2009年度は約5,200本のワクチンに相当する420万個を超えるエコキャップを回収しました。



メンバーが制作した「+αプロジェクト」ロゴマーク

### KDDI財団を通じた社会貢献事業

2009年10月に、新たに「財団法人KDDI財団」が発足しました。同財団はICT（情報通信技術）の恩恵を社会に還元するとともに、ICTによる世界の調和ある健全な発展と、社会、経済、文化の進展に寄与する社会貢献活動を推進しています。

2009年度は、大学・研究機関への研究助成、外国人留学生への奨学金支給、NGO・NPOの活動支援など、総額約8千万円の助成・援助を実施しました。また、途上国支援の一環で、途上国からの研修生への技術研修、途上国の通信事情改善のためのプロジェクト推進、さらに、途上国の将来を担う子供たちの教育支援を目的にチャリティコンサートを開催し、その収益金でカンボジアに学校を建設するなど、幅広い活動を推進しています。



チャリティコンサート  
クラシック2010